



ThreeBond



2021

JAPANESE SUPER FORMULA CHAMPIONSHIP SERIES

ROUND.5

RACE REPORT



TWIN RING MOTEGI

HONDA

YOKOHAMA

ROKiT

BANDERO
Premium Tequila

@MAISYKAY

KS Material

NGK
SPARK PLUGS

QMI
beyond the invisible



3M

KAJIMA

Home
Exceed expectations



MOTUL

Swift

ODYSSEY

KRS
KTEL RACE SERVICE

WPC

SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

TONE



リボバンド



PATRICK



掴みかけたポイント

2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第5戦が、8月28日(土)～29日(日)にかけて栃木県のツインリンクもてぎで開催された。

日本国内の新型コロナウイルス感染拡大は依然として深刻な状況で、前週にル・マン24時間レースを終えたタチアナ・カルデロン選手は、今回もレースに間に合うタイミングでは入国することができず、残念ながらスーパーフォーミュラへの参加を断念、前回に引き続き塚越広大選手(以下、塚越選手)が代役を務めた。チームは今回、車両の前後に新しい仕様のダンパーを装備、それに合わせたセッティングをまとめてツインリンクもてぎへ持ち込んだ。

公式予選

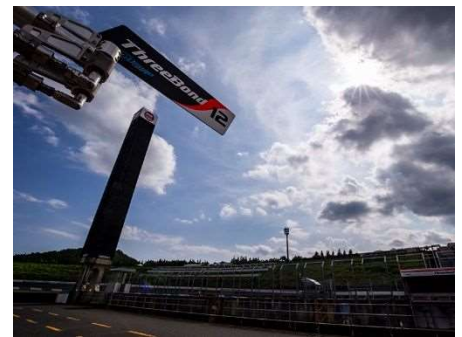
土曜日のフリー走行は午前8時40分から90分間の予定で始まった。真夏の太陽が照りつけ、気温、路面温度共にこれまでにないレベルまで上がる猛暑の1日となった。チームはフリー走行の90分を使って塚越選手と共に新しいダンパーと持ち込みセッティングの確認を行ったところ、快調な走り出しとなり中団以上のタイムを記録し始めた。ところがセッション半ばでシフトチェンジに不具合が発生、ピットに戻って長時間にわたる修理を行わなければならなくなった。そのため当初予定したセッティングメニューをこなせないままセッションが終わってしまった。それでも塚越選手は出走19台中トップから0秒643差の9番手につけた。午後2時35分から公式予選が始まったが、その頃には雲が広がり、隙間から太陽が照りつけるもの午前よりは気温路温ともに低下した。10台で争い上位7台がQ2へ進出するQ1 B組に出走した塚越選手は4番手につけてQ2へ進んだ。快調だった塚越選手は手応えを掴み、Q2突破を目指して午後3時22分からQ2 B組セッションに臨んだ。しかしタイヤをウォームアップしてタイムアタックに入ろうと最終コーナーを立ち上がったところ、午前中のフリー走行同様シフトアップができないトラブルが発生。タイムアタックができないまま1周を走ってピットに戻らざるをえなかった。この結果、Q2突破は出来ず、塚越選手のスターティンググリッドは12番手に決定した。

決勝レース

曇り空の下で午前9時から行われたフリー走行で決勝レースへ向けてのセッティングを確かめた塚越選手は、決勝向けセッティングのバランスに改善の余地を感じ2回にわたってピットに入り調整を行った。しかしチームはさらにバランスを改善出来ると考え、決勝レースのスターティンググリッド上でもセッティングを微調整し塚越選手をレースに送り出した。午後2時、薄く雲がかかる空の下でレースが始まった。これまでタチアナ選手、塚越選手ともスタート時のクラッチミートに問題を抱えてきたが、今回徹底的にクラッチのフィーリングを追求した結果、塚越選手は好スタートを切り、1コーナーから2コーナーでポジションを2つ上げ10番手でレースを始めた。ところがオープングラップのV字コーナーにさしかかったところ、前方で接触事故を起こした車両がコースを塞ぎ、塚越選手はコースのイン側へ逃げようとしたものの逃げ切れず、その車両に乗り上げてしまった。その衝撃でサスペンションを壊した車両は走行不能となってコース脇に停止、短いレースを終えることとなった。

予選結果

順位	ゼッケン/氏名 タイム
1	#16 野尻 智紀 R1'31.073
2	#19 関口 雄飛 1'31.318
3	#51 松下 信治 1'31.371
12	#12 塚越 広大 1'32.552



ドライバー（塚越広大）コメント

決勝前日から全体として良い感触でしたが、どのセッションでも問題が起きてしまい結局結果が残せませんでした。決勝日午前中のフリー走行では、前日の予選に比較するとバランスが良くなかったためエンジニアさんと話をして対応してもらいました。感触としては良くなりましたが、もう少しといったところだったので、さらにスターティンググリッドでギリギリまで悩んで、あまり大幅な変更をするのもリスクがあると考え微調整をしてもらいました。去年から決勝スタートが課題でしたが、今回は課題をクリアできて良いスタートが切れました。でもうまくオープニングラップで順位を上げられた矢先にアクシデントに巻き込まれてしまいました。最終的に行き着いたセッティングがどんな感触だったのかレースを通して確かめたかったので残念です。



監督（道上龍）コメント

今回はクルマに施したことがほぼすべて良い方向に働きました。特に、タチアナ選手が乗っていた時から課題だったスタートを改善しようと、クラッチのフィーリングなどを塚越選手が緻密に詰めていってくれました。その結果、スタートダッシュも決められて、そのまま順位を上げられただけに残念な終わり方になってしまいました。予選でトラブルが出なければもう少し前からスタートでき、ああいうアクシデントにも巻き込まれないで済んだと思うと悔しいですが、これもレースなので仕方がないです。決勝スタート前にギリギリまで悩んでセッティングを微調整しましたが、それがどんな結果につながったのかを確かめられなかったのが心残りです。次はタチアナ選手が乗ることになるかもしれませんが、同じツインリンクもてぎでのレースなので、今回の勢いに乗って頑張ります。



エンジニア（伊与木仁）コメント

今回のレースに向けて新しいダンパーを導入して、走り出しから良い感触でした。予選ではもっと前に行けたはずなのですが、ギヤチェンジのコントロールユニットに問題が出てタイムアタックが出来ませんでした。その後決勝レースに向けてセッティングを変更したところ、朝のフリー走行で思っていた方向には纏まっていないことがわかったのでリヤのアンチロールバーなどギリギリまで調整をやり直しました。最終的にはスターティンググリッドでフロントも微調整しました。その結果、決勝直前のウォームアップではバランスが改善されたとドライバーは言っていましたが、レースを走って最終的な確認ができなかったのが残念です。



レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	16	野尻智紀	TEAM MUGEN	59' 07.562
2	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	59' 08.601
3	51	松下信治	B-Max Racing Team	59' 11.245
4	20	平川 亮	carenex TEAM IMPUL	59' 11.971
5	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	59' 27.879
6	64	大湯 都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	59' 29.168
7	6	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	59' 30.945
8	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	59' 31.442
9	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	59' 35.647
10	15	大津弘樹	Red Bull MUGEN Team Goh	59' 39.201
11	18	国本雄資	KCMG	59' 40.927
12	1	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	59' 41.507
13	4	中山雄一	KONDO RACING	1:00' 02.519
14	7	小高一斗	KCMG	1:00' 03.268
15	3	山下健太	KONDO RACING	1:00' 04.090
16	36	Giuliano Alesi	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	1:00' 05.119
DNF	5	福住仁嶺	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	-
DNF	12	塚越広大	ThreeBond DragoCORSE	-
DNF	14	大嶋和也	NTT Communications ROOKIE	-



Drivers Ranking

順位	ドライバー	合計	有効ポイント	1	2	3	4	5	6	7
				富士	鈴鹿	AP	SUGO	もてぎ	岡山	鈴鹿
1	野尻智紀	76	76	3+20	2+20	3	5	3+20		
2	大湯 都史樹	41	41	2+15	1+1	2	15	5		
3	関口雄飛	39.5	39.5		3(QF)	0	20	2+15		
4	福住仁嶺	34	34	11	15	0	0			
5	平川亮	31	31	8	8	0.5	3+11	8		
6	松下信治	25.5	25.5	-	5	2+4	4	1+11		
7	宮田莉朋	22	22	4	11	0	0	3		
8	阪口晴南	20.5	20.5	2	2	3+10	2	6		
9	笹原右京	18	18	1+6	0	1+7.5	1+3	-		
10	Giuliano Alesi	17	17	-	0	5.5	8			
⋮										
12	Tatiana Calderon	0	0	0	0	-	-	-		
12	塚越広大	0	0	-	-	0	0	0		

*表中ポイント数字の左側：予選ポイント 右側：決勝ポイント

Team Ranking

順位	チーム	合計	有効ポイント	1	2	3	4	5	6	7
				富士	鈴鹿	AP	SUGO	もてぎ	岡山	鈴鹿
1	TEAM MUGEN	68	68	17	11	0	26	20		
2	carenex TEAM IMPUL	65.5	65.5	20	23	3	5	23		
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	58	58	8	23	0.5	11	4		
4	TCS NAKAJIMA RACING	47	47	20	4	3	15	5		
5	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	34	34	4	7	14	6	3		
6	B-Max Racing Team	24.5	24.5	2	4	7.5	3	11		
7	PMU/CERUMO・INGING	24.5	24.5	0	0	5.5	8	8		
8	Red Bull MUGEN Team Goh	10.5	10.5	0	6	2.5	1	1		
⋮										
12	ThreeBond Drago CORSE	0	0	0	0	0	0	0		

